



寄って 話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

自立にむけて ～大人になる準備はOK?～



「毎日部活や塾で忙しいから・・・」と、自分でできることを人任せにしているいませんか。自分で決断をして、その結果を自分自身で受け止められますか。話をするときには、相手を尊重しながら、自分の気持ちも伝えられますか。自立するって、難しいことなのではないでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。

エピソードを読んで考えよう

エピソード①



A君は小学校1年生、今日も元気に登校します。

給食時間になり、担任の先生がみんなに声をかけました。

「みなさん、ハンカチを持ってきていますか？忘れた人は手をあげてください。」

「あっ・・・しまった・・・」A君はしぶしぶ手をあげました。

「もう、お母さんったら、ちゃんと準備してくれないから・・・」

最近のA君の口ぐせです。

設問①

あなたなら、A君になんと声をかけますか。

「A君の自立」という視点から、前向きな声掛けをしてあげてください。

アドバイスや質問でもかまいません。

A君、



エピソード②

Bちゃんは小学校2年生。最近学校では、Cさんと一緒に行動することが多くなっています。

ある日、Cさんが「2組のともちゃんね、私の悪口言ってるんだって。私、ともちゃんと話すの、いやになっちゃった。Bちゃんも、ともちゃんと話すのをもうやめようよ。いい？約束ね！」と言ってきました。

「う、うん。」

Bちゃんは深く考える事もしないまま、返事をしてしまいました。



設問②

あなたなら、Bちゃん、Cさんになんと声をかけますか。

それぞれに「自立」という視点から、前向きな声掛けをしてあげてください。
アドバイスや質問でもかまいません。

Bちゃん、

Cさん、



考えましょう、出し合いましょう

設問③ 設問①②では「自立」という視点を持って声掛けを考えてもらいました。
あなたが、A君・Bちゃん・Cさんに伝えなかったことはどんなことですか。

A君には

Bちゃんには

Cさんには

ということを伝えたい

④ 高校生になった今、自立するとはどういうことだと思いますか。

B5の色付きの用紙の裏を使って
マジックで書いてみましょう。



学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。